日中友好新聞
府連通信

2014年１１月号
日本中国友好協会大阪府連合会
〒530-0012
大阪市北区
芝田2-3-19
東洋ビル本館207
TEL06-6372-8131
050-3413-6491
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail:jcfa@jt8.so-net.ne.jp
ホームページ
http://www005.upp.so-net.ne.jp/jcfaosaka/

初の太極拳指導員養成研修
熟練すれば動きも軽やかに

台風が接近する中十月十一日から十三日京都の石清水研修センターで指導員の技量アップや、指導員を目指す意欲のある人を対象に「太極拳指導員養成のための研修合宿」が関西ブロックを中心に各地から六四名の参加がありました。技量的にもバラバラで、高齢者の方には習得まで時間がかかると感じましたが、幅広い方々に参加して頂き楽しく過ごすことができました。

太極拳の武術としての伝統を大切にしながら、老若男女誰でもできる太極拳を目指して、太極拳の新しい発展に寄与したいと考えています。今回の研修を通じて指導員としての「教え方、学び方、基本の技術やそれを構成する哲理の大切さ」がいかに大切かという事を知ってもらういい機会になりました。

その一方で現在普及されている「高く、低く、飛んだり、跳ねたり」等で優劣を競う国際競技用套路太極拳は、故障を招きやすく若年期から始めないと体の故障を招きかねません。

武術としての太極拳の基礎作りは地味であっても理論的には優れていますし、熟練すればするほど日常生活も楽になり、動きも軽やかになります。それらの事を理解して頂ければ今回の講習会は成功です。

参加された多くの方から大変参考になったという声をいただきました。指導や運営にも到らない所がありましたが継続して取り組んでいきたいと思います。今回一名の方が入会されました。（恒岡正勝）

劇映画 望郷の鐘
いよいよ完成

大阪府連が事務局となって上映をすすめている、十四日完成披露の劇映画「望郷の鐘ー満蒙開拓団の落日」は、満蒙開拓団の悲劇と「中国残留孤児の父」と言われ民間人でありながら生涯を中国残留孤児たちの肉親捜しを献身的な愛でささえた、長野県・阿智村出身の山本慈昭さん（１９０２～９０）の半生を描いた劇映画です。

主人公の山本慈昭を、テレビでもおなじみの俳優、内藤剛志が演じ、いよいよ完成です。

ＮＨＫも「特集」で取り上げ、完成前から話題に

ＮＨＫ朝の番組「おはよう日本」や、ＮＨＫＢＳ１「国際報道２０１４」でも、「日中関係が冷え込む中、国家と戦争に翻弄された満蒙開拓の歴史を、双方の国で見つめ直そうとする動きを伝える満蒙開拓をテーマにした映画撮影」として報道されました。十月十六日には人気番組の「徹子の部屋」でゲストの内藤剛志さんが「演じながら涙が止まらなかった、「望郷の鐘ー満蒙開拓団の落日」を見てもらい平和を考えるきっかけにしてほしい」と語りました。

みんなの力で十二月の完成有料試写会を成功させましょう！

大阪での十二月十三日の有料完成試写会を会場一杯の人で成功させ、以後の府下の上映運動の弾みにしたいと全力で取り組んでいます。前売券（１２００円）をまだ手にしていない会員・準会員さんはぜひ府連にご一報ください。周りの知人・友人を誘い合わせてご一緒にご鑑賞ください。インターネットで「you tube望郷の鐘ダイジェスト」と検索すれば劇映画「望郷の鐘ー満蒙開拓団の落日」の上映ダイジェスト版（七分三〇秒）がアップされています。

「望郷の鐘」満蒙開拓団の落日
１２月に完成披露有料試写会

１２月１３日（土）１４：００(開場13：30)
クレオ大阪中央ホール地下鉄「四天王寺夕陽丘」
前売り：１２００円　製作協力券で入場可
当日券：大人１５００円、学生１３００円、障害者１０００円
11/29（土）　府保険医協会M&Dホール
2015年1/15（木）　吹田メイシアター中ホール

「望郷の鐘」吹田上映決まる

2015年１月１５日（木）３回上映します
会場：メイシアター中ホール 阪急吹田駅前
第１回　１０：３０　前売券１２００円
第２回　１４：００　製作協力券で入場可
第３回　１８：３０　当日券：大人１５００円、学生１３００円、障害者・中高生１０００円

中国 法治社会の建設へ・四中全会
「人治から法治へ」は快挙

一年ぶり十月に開催された中国共産党中央委員会第四回全体会議は「法にもとづく国家統治」を徹底することを決めました。

「社会の活力を引き出し、社会的公正と正義を促進し、社会的な調和と安定を擁護し、党と国家の長期的安定をはかる」という習近平総書記の言葉には、この間、幹部の腐敗一掃に努めてきた共産党が、行政・司法・経済・社会の運営全般に法律を基礎とする一段と高いレベルでの統治方式を確立する決意がみなぎっています。

（「」内は習近平総書記による「4中全会」説明の言葉）

「人治」とか「長官の意志」は毛沢東時代の遺物？

コネや裏口取引が横行し、決定や法律を尻目に、トップや幹部の気持ち一つでものごとが動く、検察・裁判でさえそれに左右されるという弊害はよく知られてきましたが、改革・開放の時代に入って「人治」との決別、「法治」の確立がくり返し強調されてきました。毛沢東時代と比べると法制の整備も著しく進んでいます。

しかし、この二年間で十八万人の幹部が処分され、中央委員、中央政治局委員、政治局常務委員でさえ、目を疑うような不正蓄財を働く事態は。庶民の間には知れ渡っており、怒りと不信が渦巻いています。

人民の権益を損なわない

決定では「憲法を核心とする法体系」、「法の前に人々は平等である」ということを基礎に、現代的な統治を実現するという壮大な展望が示されています。

「言をもって法に代え」、「権力をもって法を抑えつけ」、「私欲をもって法をないがしろにする」というような依然横行する行為は、「社会主義的法治原則に反し、人民大衆の権益を損ない、党と国家の事業の発展を妨害する」ものと厳しく戒めています。

このたびの決定は、「大衆の切実な利益に関わる領域での法的効力の強化」という文言に示されるように、庶民の怒りと不信を強く意識したものであることがうかがえます。（以上、「」内は決定文書の言葉）

共産党の指導と法治との関係は

マスコミ報道では「中国改革『反腐敗』の次へ」（朝日21日）「目指すは中興の祖」（日経27日）などと注目しつつ、「『法治』で統制強化」（日経24日）「法治掲げ（香港）長官選に介入」（日経25日）など、独自の分析を行っています。

確かに、決定では「党の指導は法による国家統治の全過程を貫く」ものであり、「社会主義的法治は党の指導を堅持しなければならず、党の指導は社会主義的法治に依拠しなければならない」という原則を掲げています。「党の指導」は憲法の定めであり、これも順法なのでしょう。いずれにしても「中国の国情と実際から出発し、特色ある社会主義の道を歩み、他国のモデルを無批判的には参照しない」（習近平説明）ことが強調されています。

期待しつつ、冷静に注目

法治の確立は中国の国民にとってかけがえの願いであることは疑いありません。同時に、改革開放の三十有余年、法治が強調されてきてなお「共産党の指導」の名で「人治」が絶えなかった経緯、「一国両制」と言いながら香港へも統治強化が進行する状況、法治の徹底に大きな期待を寄せつつ、冷静に見守っていきましょう。

（府連副会長　山本恒人）

2015中国悠久の旅販売中

2015カレンダーには、府連から応募した廣原資泰さん（４月）と玉井質さん（１２月）の写真が掲載されています。

Ｂ３版、13枚綴り定価：１，２００円

緊急募金ご協力ありがとう

日中友好協会は極めて厳しい財政の現状を打開し、日中友好運動の一層の発展につなげるため、会員・準会員１２００名の拡大と、財政改善のための特別募金を訴えています。「緊急募金」は一〇月末現在、大阪府連関係から

約八〇名から
約七〇万円を

お寄せいただきました。

ありがとうございました。

引き続きみなさんのご協力をよろしくお願いします。

花のきりえ展開催

「花」と「花のある風景」のきりえ展を、十月二八日から十一月三日、長居植物園にある大阪市立花と緑と自然の情報センターギャラリーで三七点展示しました。

散歩の途中で立ち寄られる方も多く、８００名近くが来場されました。

春の全大阪きりえ美術展と違い、同じテーマによる作品は会場の都合で小品の展示ですが、統一感もあり充実した内容になっていたのではないかと好評でした。

きりえを団扇、扇子、箱、衝立に貼った応用作品もあり好評でした。

（全大阪きりえ連絡会代表近藤好幸）

きりえで干支（羊）色紙を創ります

西支部主催「きりえで創る干支色紙講習会」が、羊をテーマに二六日（水）二時から九時まで、日中文化センターで開催されます。参加費は資料代込みで一〇〇〇円です。ぜひご参加下さい。